



長門市

記 者 配 布（発表）資 料

発信年月日：令和2年5月25日

所属部課	課長・香月泰男美術館長	担当職氏名	連絡先	TEL 0837-43-2500 FAX 0837-43-2577
経済観光部 観光政策課	岡田 年生	香月泰男美術館 丸尾 いと		
件 名	展覧会「香月泰男の表現 ―石と水―」の開催について			

本展覧会及び関連イベントの周知にご協力くださいますよう、お願いいたします。

1. 内 容 本展は“石”と“水”をテーマとして香月の表現の多様性に迫る展覧会です。同じ形で描かれた石、見立ての表現としての石、黒で描かれた川、水の表現等に着目し、油彩、オブジェ、画稿等約40点を展示します。

2. 会 期 令和2年5月30日(土)～令和2年8月31日(月)
開館時間 9時～17時（入館は16時30分まで）
休館日 毎週火曜日 ※8月11日(火)は特別開館

3. 会 場 香月泰男美術館（長門市三隅中226）

4. 観 覧 料 一般500円(400円)、小中高校生200円(150円)、未就学児無料
※（ ）内は20名以上の団体料金です。
※長門市内在住者は、住所の分かるもの（運転免許証など）を受付で提示すると、無料で観覧できます。

5. 関連イベント

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じた上で開催しますが、中止・変更の場合があることをご了承ください。

・学芸員によるギャラリートーク ※事前申込不要

【内 容】展覧会のみどころなどをお話しします。

【日 時】6月27日(土)・7月19日(日) 11:00～

8月22日(土) 13:30～ いずれも40分程度

⇒金子みすゞ記念館でも7月から“石”をテーマにした企画展の開催を予定しており、共通のテーマとなる“石”を画家と詩人がどう表現したのか。午前と午後、両館の学芸員が各館でギャラリートークを開催します。

7月19日(日) 11:00～香月泰男美術館 13:30～金子みすゞ記念館

8月22日(土) 11:00～金子みすゞ記念館 13:30～香月泰男美術館

・おもちゃづくり教室 ※事前申込不要、未就学児の参加は保護者同伴

【内 容】天然の木を使って自分だけのオブジェ作りに挑戦します。

【日 時】8月8日(土)・9日(日) 10:00～15:00 時間内随時受付

【会 場】香月泰男美術館研修室

【参加費】300円

【講 師】遊林クラブ

イベントのご案内 ※臨時休館やイベントを中止・変更する場合があります。詳しくは各館ウェブサイトをご覧ください。

🎵 ギャラリートーク

香月泰男美術館と金子みすゞ記念館では
7/19(日)と8/22(土)の午前と午後に
それぞれの館でギャラリートークを開催します。

共通のテーマである「石」をどのように表現したのか、
画家の視点、詩人の視点をこの機会にぜひご覧ください。

【香月泰男美術館】

- 学芸員によるギャラリートーク ※事前申込不要
展覧会のみどころなどをお話します。
日 時:6/27(土)、7/19(日) 11:00～40分程度
8/22(土) 13:30～40分程度

【金子みすゞ記念館】

- 学芸員によるギャラリートーク ※事前申込不要
展覧会のみどころなどをお話します。
日 時:7/19(日) 13:30～30分程度
8/22(土) 11:00～30分程度

🎵 ワークショップ

【香月泰男美術館】

- 夏休み恒例☆おもちゃづくり教室
天然の木を使って自分だけのオブジェ作りに挑戦しよう！
日 時:8/8日(土)、9(日) 10:00～15:00
会 場:香月泰男美術館研修室
参加費:300円
講 師:遊林クラブ
※事前申込不要、時間内随時受付
※未就学児の参加は保護者同伴をお願いします。
※大人も参加できます。

【金子みすゞ記念館】

- 石ころペーパーウェイトを作ろう
描く？貼る？石ころをデコレーションして
オリジナルペーパーウェイトに变身！
日 時:7/26(日) 10:00～15:00
会 場:金子みすゞ記念館講座室
※事前申込不要、時間内随時受付
※未就学児の参加は保護者同伴をお願いします。
※大人も参加できます。



夏休みの
宿題にも
ぴったり！



2019年おもちゃづくり教室の様子



長門市文化施設 4館共通入館券のご案内

長門市内の文化施設である香月泰男美術館、
金子みすゞ記念館、村田清風記念館、
くじら資料館の大変お得な共通入館券です。

一般700円、小中高生300円

利用開始日から1ヶ月間有効 1館につき1回入場可能

長門市の文化施設をお得にめぐろう！ ギャラリートークにぜひお役立てください！



香月泰男美術館



金子みすゞ記念館

交通のご案内

香月泰男美術館

・広島方面より
中国自動車道美祿JCT～小郡
萩道路絵堂I.C.より車で約20分(R28・R191経由)

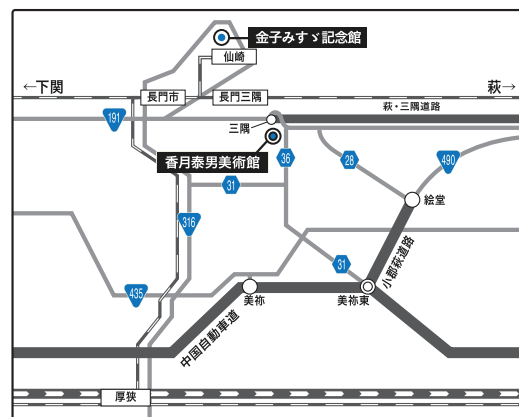
・九州方面より
中国自動車道美祿I.C.より車で約40分
(R435・R316・R31・R36経由)

【公共交通機関ご利用】
JR山陽新幹線・JR山陽本線厚狭駅>美祿線乗換(65分)
▷長門市駅下車 長門市駅よりバスで約20分
最寄バス停「湯免温泉」下車 徒歩3分

金子みすゞ記念館

・広島方面、九州方面より
中国自動車道美祿I.C.より車で約40分
(R435・R316・R191経由)▷長門市仙崎
※大型車両(バス、マイクロバス)は駐車できません。
道の駅センザキッチン駐車場をご利用ください。

【公共交通機関ご利用】
JR山陽新幹線・JR山陽本線厚狭駅>美祿線乗換(65分)
▷長門市駅>仙崎線乗換(5分)▷仙崎駅下車 徒歩5分



香月泰男美術館

〒759-3802 山口県長門市三隅中226
TEL 0837(43)2500

●ウェブサイト

香月泰男



●Twitter

@kazuki_yasuo



金子みすゞ記念館

Kaneko Misuzu Memorial Museum

〒759-4106 山口県長門市仙崎1308
TEL 0837(26)5155

●ウェブサイト

金子みすゞ記念館



●Twitter

@kaneko_misuzu



香月泰男の表現 — 石と水 —

Y. KAZUKI

私の周囲にまだ残っている。
美しいものは、



2020年 5月30日(土) → 8月31日(月)

開館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日：毎週火曜日 ※8/11は特別開館

※臨時休館やイベントを中止・変更する場合があります。詳しくは当館ウェブサイトをご覧ください。

入館料：一般 500(400)円／小中高生 200(150)円

※未就学児は無料 ※()内は20名以上の団体料金

香月泰男美術館

〒759-3802 山口県長門市三隅中226
TEL 0837(43)2500

香月泰男 「波清」1967 「集鳩」



香月泰男の表現

本展では“石”と“水”をテーマに、絵画やオブジェなど香月の表現の多様性に迫ります。

30歳当時の香月は、石を花よりも身近なものに感じていました。描かれた石は、その形に共通性があります。実はこのフォルムを完成させるために画稿に繰り返し描いており、本展ではこれらと共にご覧いただきます。

香月の作品には水もたびたび登場します。アトリエでの制作活動の合間に、疲れを癒すために眺めていた自宅前を流れる川は、良き題材となったようです。時に主題、時に脇役となる水の面、波、しぶき、流れといった表現に注目してみましょう。

石と水ー 丸みや凹凸の形状や色といった視覚的なものから、音、動きなど想像を働かせてお楽しみください。

描かれた石

オブジェとして、仕切りとして、石にも役割があります。

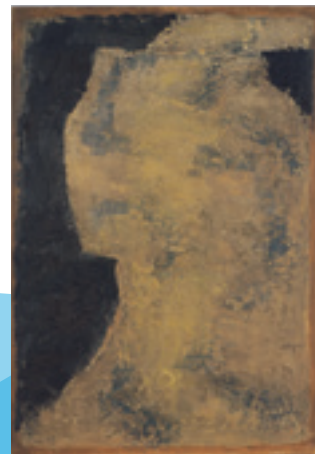
「これ程、一つ一つのものが変化があって、
それぞれが永い歴史を持っているものは他にない様に、自分は思う。」

「花石」『美之國』1941年



黒の世界で描かれた川

季節や川の表情を想像してみてください。



石



と

見立ての表現

石の形や模様を何かに
見立てて創られたオブジェたち



水

水の表現

波、しぶき、流。水の描き方に注目してみましょう。

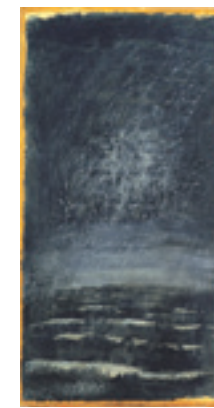
「春の川、夏の秋の冬の川、それぞれに変わったおもしろさがあるが、
川の面は他のものを反映しては己の面のごとくに見せている。」

「画家のことは」『芸術新潮』1972年



テーマは同じでも
色によって印象が
大きく異なります。

- 1.「石と壺」1940
- 2.「棚」1940
- 3.「門・石垣」1940
- 4.「蟹」
- 5.「朝陽」
- 6.「溝川」1958
- 7.「流」1961
- 8.「冬の川」1963
- 9.「冬の川」1963
- 10.「雨後」1949
- 11.「雨後」1966
- 12.「風景(山陰)」1934
- 13.「冬の海」1974
- 14.「瀬」1962
- 15.「瀧」1972



金子みすゞ記念館

Kaneko Misuzu Memorial Museum

みすゞの中の小石展

金子みすゞ (1903～30年)は女性童謡詩人です。26年という短い生涯の中で512編の作品を残しています。詩に詠まれるものは、日常生活から自然、空想の世界…と多岐に渡っており、普通の人なら見落としてしまうようなものにも目を向けています。

今回、香月泰男美術館とテーマを共有するにあたり、「石」を題材にしている点に注目しました。「石」は、どの人にとっても身近にあり、誰もが気に留めないもののひとつです。香月泰男(1911～74年、三隅村・現長門市)と金子みすゞ(仙崎村・現長門市)は、同じ時代を同じ風土で過ごしたと言えます。両者は表現のジャンルこそ異なりますが、題材以外にも何か共通するものがあるかもしれません。

本展覧会で紹介するのは、石・宝石の詩18編です。これらの詩の中で、みすゞは石の気持ちを想像したり、ただ見つめていたり、速さの表現に用いたり、何かに見立てたり…と、様々な形で登場させています。また、彼女の詩には空と海が一緒に出てくことも多く、空の中にも海の小石を見出しています。海の中の光は真珠の輝きに見え、琅玕のお宮がありました。みすゞの詩の世界観をよりイメージしやすいよう、詩に出てくる石なども展示しています。

「石」一つにしても、様々な思いを巡らすみすゞの目には、多彩な世界が広がっています。夏休みの宿題の題材にお困りでしたら、香月泰男や金子みすゞの感性に触れて、想を得てみてはいかがでしょうか。



「浜の石」金子みすゞ自筆・金子みすゞ著作権保存会提供

2020年

7月3日(金) → 8月31日(月)

金子みすゞ記念館



〒759-4106 山口県長門市仙崎1308
TEL 0837(26)5155 会期中無休